臨床・障害 841

聴覚障害児と母親の相互作用の発達に関する研究

○片岡 彰 寺田 晃 本郷 一夫
（東北大学）

III. 結果

方法で述べた基準にしたがって、それぞれの行動の出現頻度を集計した。行動カテゴリー別出現頻度数について表1（子ども）、表2（母親）に、子どもの協応的行動については図1（H児）、図2（T児）に示す。

A. 行動カテゴリー別出現頻度

（1）H児の場合

・子（表1）
①行動の計数は月を進むことに増加し、行動のレパートリー（カテゴリー数）も広がっている。
②「見る」も特に「舌（母）」が増加している。
③「発声」は5月に現れ7月に一時減るが、8月に再び増加する。
④「与える」「受け取る」「取る」とする）が全般的に多く、8月にやや減少している。
⑤「指差し」「追視」「示す」が7・8月に現われている。

・母親（表2）
①「見る」は4月はやや少ないが、全般的に多く、その中でも「顔（子）」がもっとも多い。
②「発声」の頻度も全体的に多い。
③「身ぶり」は5、7月が多く、8月に減っている。
④「さわる」は月を追うごとに減少している。
⑤「受け取る」は4月、「要求する」は5月、「与える」は7月に多い。
⑥「指差し」「示す」「複写行動」は7・8月に増加している。

（2）T児の場合

・子（表1）
①行動の計数は7月にやや落ち込むが、月を進むことに増加している。しかし行動のレパートリーは減少している。
②「発声」は月を進むごとに増加している。
③「笑う」が7月に現れている。
④「複写行動」「指差し」「示す」は頻度が少ないが4月から既に現われている。

・母親（表2）
①「見る」は月を進むごとに減少する傾向にある。
②「笑う」は4月に少なくな、他の月は多い。
③「発声」「示す」は②とは逆に4月に多い。

B. 協応的行動

協応的行動は両児とも、月を進むごとに増加している（図1、図2）。H児は7・8月には協応的行動（3）も見られる。

IV. 考察

（1）H児について

上述の結果から、H児と母親とのコミュニケーション関係が質的に変化している様子がうかがわれる。即ち、4月段階では両者のコミュニケーション（相互作用）は物を中心としているが、H児が持ち紙積みで遊んでいる所へ母親が介入し、積みを要求したり、手をとったり子どもが母親の手に積みをのせるという行動が多く観察された（子どもの「見る（顔）」が少なく「見る」（その他）「与える」が多い）。5月以降になると、母親を見て子どもの方が積みを与えるという行動が出現するなど、双向的な相互作用が現れはじめるとともに、「発声」もみられるようになる（子どもの「見る（顔）」の増加、「指差しの方向を見る」の出現など）。そして7・8月になると、物の直接的なやりとりといった近距離的な相互作用から、「発声」、「指差し」、「身ぶり」を用いた遠距離的相互作用への移行がみられる（子どもの「指差し」の出現、「与える」「取る」など一連の行動の減少、「発声」の急増、母親の「指差し」の増加）。

（2）T児について

T児はH児にくらべ、コミュニケーション関係の質的変化はとらえられなかった。これは、T児はすべて4月時点で「指差し」「身ぶり」など遠距離のコミュニケーション手段を獲得しており、H児のような変化過程を経過していない可能性も考えられる。また、T児は4月時点で立ち歩きができる状態であり、目新しい場面（本研究の観察場所）に初めておられたしたT児は、4月には室内を探検的に動き回ったようである（行動レパートリーの多さ）。一方、母親はそのようなT児を落ち着かせようと懸命に遊びにそっていった（「発声」「示す」の多さ）。5月以降になると、T児も場面に慣れたためか、人形や木製などにいった道具で単に遊ぶように（子ども「見る（顔）」のみ）、行動カテゴリー数の減少。それに対して、母親は時々観かかけきりにして介入するという関係が展開されていった（母親の行動総数の減少）。7月の子どもの「指差し」の多発は、T児の欲しい道具が子どもの取りにくい所にあったために現れたと考えられる。

V. まとめ

今回の行動カテゴリーによる分析によって、H児に関してはコミュニケーション関係が（1）一方→双方、（2）近距離から遠距離へ変化していく傾向にあると考えられる。しかし、T児に関しては相互作用の質的変化はとらえられなかった。今後、母親の発言内容の分析や、母子のやりとり（turn-taking）を一つの行動の流れとして直接分析することによって、コミュニケーション関係の展開過程をより明確にとらえられるようにしたい。
| 表1. 子どもの行動カテゴリ別出現頻度数 |
|-----------------|-----------------|
| 行動カテゴリ   | 見る | 見ない |
| 地域            | 見る | 見ない | 見る | 見ない | 見る | 見ない | 見る | 見ない |
| 地域            | 行動 | 行動 | 行動 | 行動 | 行動 | 行動 | 行動 | 行動 |
| 4月             | 10   | 18   | 7    | 0    | 0    | 0    | 15   | 3    |
| 5月             | 19   | 4    | 5    | 0    | 0    | 0    | 3    | 1    |
| 7月             | 35   | 16   | 1    | 7    | 2    | 0    | 0    | 0    |
| 8月             | 6    | 26   | 12   | 4    | 30   | 6    | 1    | 2    |
| 4月             | 28   | 12   | 3    | 0    | 0    | 6    | 1    | 17   |
| 5月             | 18   | 9    | 7    | 0    | 9    | 1    | 6    | 3    |
| 7月             | 35   | 10   | 5    | 3    | 0    | 17   | 1    | 19   |
| 8月             | 41   | 3    | 1    | 1    | 0    | 38   | 1    | 33   |

| 表2. 母親の行動カテゴリ別出現頻度数 |
|-----------------|-----------------|
| 行動カテゴリ   | 見る | 見ない |
| 地域            | 見る | 見ない | 見る | 見ない | 見る | 見ない | 見る | 見ない |
| 地域            | 行動 | 行動 | 行動 | 行動 | 行動 | 行動 | 行動 | 行動 |
| 4月             | 10   | 57   | 21   | 0    | 106  | 2    | 19   | 3    |
| 5月             | 33   | 86   | 3    | 4    | 118  | 10   | 9    | 1    |
| 7月             | 41   | 59   | 18   | 6    | 115  | 10   | 2    | 15   |
| 8月             | 8    | 100  | 4    | 6    | 112  | 1    | 0    | 3    |
| 4月             | 36   | 48   | 15   | 1    | 93   | 7    | 26   | 3    |
| 5月             | 15   | 39   | 18   | 5    | 48   | 7    | 9    | 2    |
| 7月             | 18   | 39   | 16   | 6    | 47   | 6    | 21   | 1    |
| 8月             | 14   | 40   | 20   | 3    | 51   | 2    | 11   | 1    |

図1. T児の協応的行動の割合
図2. T児の協応的行動の割合